

# 令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和4年10月13日 枚方市立樟葉小学校

文部科学省が今年4月に実施した、令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について、全国を基準とした経年推移等によって、本校の学力や学習の状況を保護者の皆様にお知らせします。結果によると、児童の学習習慣及び生活習慣と学力には相関関係があることがわかりました。引き続き、保護者の皆様には、児童の学力向上に向けた取組へのご支援・ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

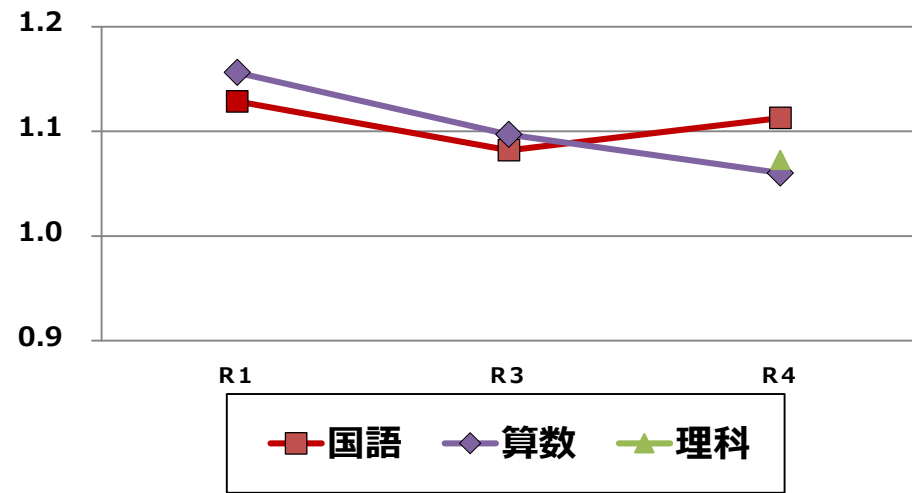
## 【全体概要】

※調査結果について  
教科や出題範囲が限られていることから、全国学力・学習状況調査により測定できるのは、学力の特定の一部分です。

## 学力調査の結果

学力調査結果の中から、本校と全国の経年比較(対全国比)をお知らせします。

### 全国の平均正答率を1とした経年比較



★対全国比、平均正答率、平均無解答率の数値については掲載していません。保護者の方にはお知らせしていません。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止のため、掲載していません。

対全国比 (全国を1とする)	
国語	
算数	
理科	

## <学力調査結果の概要> 3教科全てで全国平均正答率を上回りました。

○国語について → 全体平均正答率並びに学習指導要領の内容「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」「(3)我が国の言語文化に関する事項」「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」の全てで平均正答率が全国を上回っています。「知識・技能」を問う6問の平均正答率では、全国を10ポイント以上上回りました。3問あった「記述式」の問題では、全てで平均正答率が全国を上回ってはいるものの、平均正答率が50%を下回り、無解答率が10%を超えた問題が1問ありました。

○算数について → 全体平均正答率並びに学習指導要領の領域「A数と計算」「B図形」「C測定」「C変化と関係」「Dデータの活用」の全てで平均正答率が全国を上回ったものの、全体平均正答率は昨年度から下降しています。3問あった「記述式」の問題では、平均正答率が全国に比べ5ポイント以上上回ったものの、本校の平均正答率は60%台に留まりました。

○理科について → 全体平均正答率並びに学習指導要領の区分・領域「A エネルギー」「A 粒子」「B 生命」「B 地球」の全てで平均正答率が全国を上回りました。3問あった「記述式」の問題では、平均正答率が全国に比べ9ポイント以上上回ったものの、本校の平均正答率は50%台に留まりました。また、記述式問題の3問中2問で平均無解答率が10%を超え、全体の平均無解答率が全国平均を上回りました。

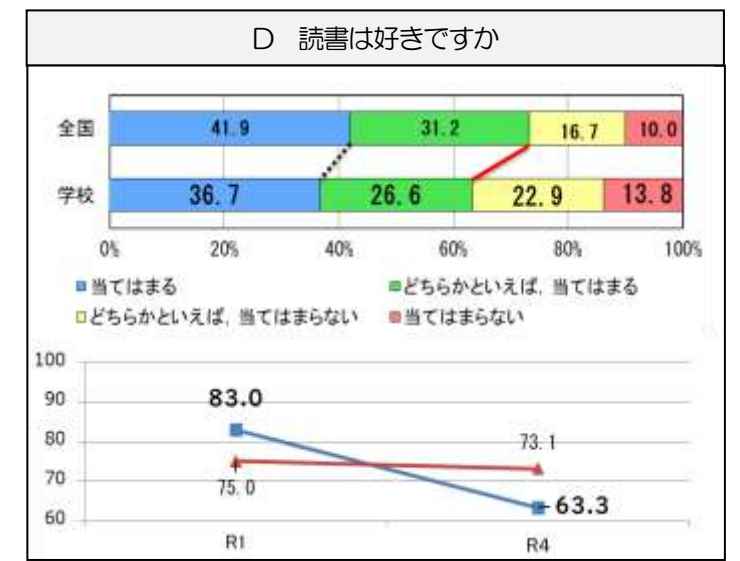
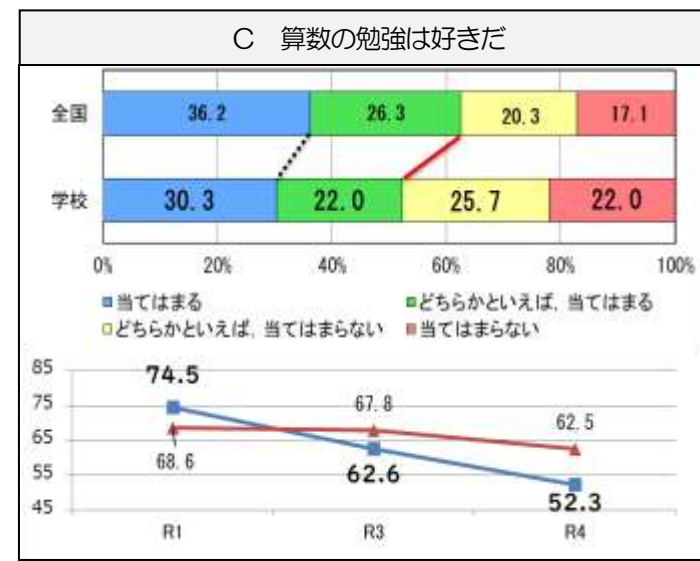
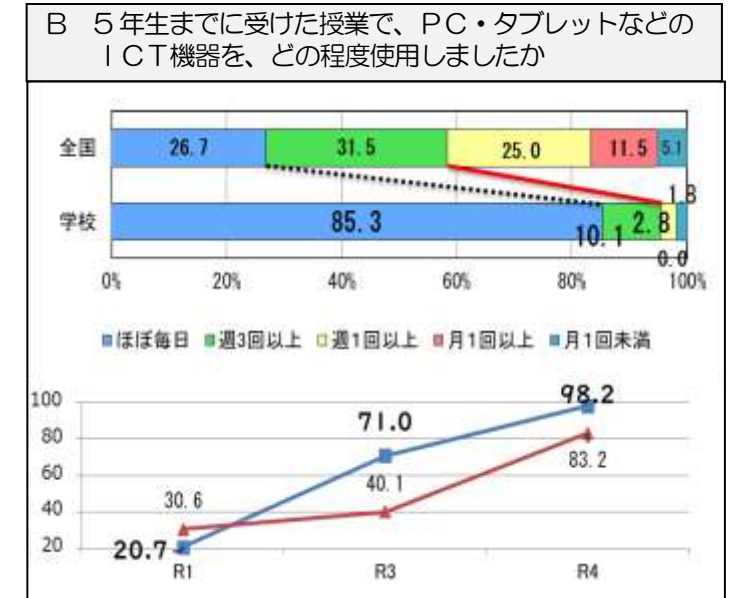
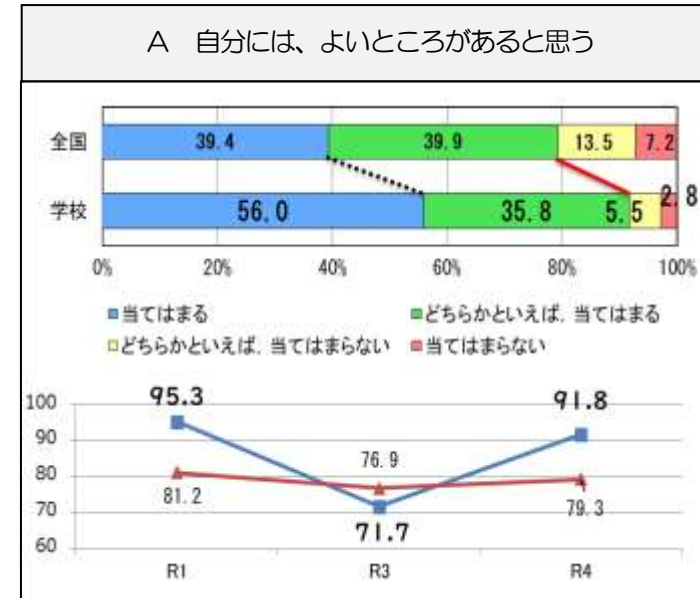
※次ページ以降に、「各教科に関する調査」「質問紙調査」における詳細な結果について公表しております。

## 質問紙調査の結果

質問紙調査結果の中から、主な項目について、本校と全国の経年比較等をお知らせします。

※帯グラフは、左から「強い肯定的回答」「弱い肯定的回答」「弱い否定的回答」「強い否定的回答」または、「頻度(回数や時間)」を示しています。  
※折れ線グラフは、「強い肯定的回答」「弱い肯定的回答」の合計数値となっています。  
※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合もあります。

▲ 全国  
■ 本校



## <質問紙調査結果の概要> 『自尊意識』『ICT活用』が向上しました。

児童質問紙調査では、『自尊意識(自己肯定感、自己有用感等)』に係る項目(上記A等)及び、『ICT活用』に係る項目(上記B等)で、肯定的回答(「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計の数値や頻度が高いことを表す数値)の割合が、大阪府や全国の割合を上回りました。一方、『算数の勉強』及び『読書』が「好き」の肯定的回答の割合が減少し、全国及び大阪府の割合を下回る結果となりました。

## <まとめ> 児童の学力・学習状況の課題に正対し、さらなる資質・能力の向上につなげます。

学力調査では、全ての教科において、①問題の分類別(学習指導要領の内容・区分・領域)、②評価の観点別、③問題形式別の結果で全国の平均正答率を上回る等、概ね良好な結果となりました。学習状況においても、多くの項目で肯定的回答が向上したり、回復したりする等の良好な結果がみられました。このような結果の中でも本校の課題が明らかになってきたこともあります。「今求められる学力」並びに「育みたい資質・能力」のさらなる向上に繋げるために、結果を分析し、これまでの取組の省察・検証を行い、さらなる取組の充実を図ってまいります。また、児童の学力向上並びに学習状況の改善には、ご家庭並びに地域との連携・協力が不可欠であり、一層推進させる必要があると考えます。今後ご協力・ご支援のほど何卒よろしくお願いいたします。



【詳細について】

教科に関する調査

<国語>

【成果及び課題がみられた設問】

問題	問題の概要	出題の趣旨	本校	全国	正答率	無解答率
1一	【話し合いの様子の一部】における谷原さんの発言の理由として適切なものを選択する	話し言葉と書き言葉との違いを理解する。	本校	全国		
1二	【話し合いの様子の一部】における谷原さんや中村さんの発言の理由として適切なものを選択する	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える	本校	全国		
1三	【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんに質問し、知りたかったことの説明として適切なものを選択する	必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える	本校	全国		
1四	「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、 <input type="checkbox"/> でどのように話すかを書く	互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめる	本校	全国		

【考察】 1の出題の趣旨は、「互いの立場を尊重しながら意図を明確にして話し合い、自分の考えを広げたりまとめたりすることができるかどうかをみる。」です。

<成果> 基礎的・基本的な「知識」及び「思考力」の定着は図られています。

設問「一」及び「二」、「三」の選択式問題で、正答率が80%を超えています。また、「一」「二」「四」の3問では、全国平均を大きく上回りました。「四」は3つの条件が設定され、「思考・判断・表現」の力をみる問題です。これまで本校児童の課題であった記述式問題で、全国の平均正答率を10ポイント以上上回り、これまでの授業等で『書く』ことに取り組んできた一定の成果が表れたものと考えます。しかしながら、正答率が60%以下で、全14問中で2番目に低いことから、さらに全体の底上げに取り組む必要があると考えます。

1 同さんの字級では、地域のためにできることについて話し合うことにしました。同さんのグループでは、学校の近くにある公園をきれいにすることについて話し合っています。次は、そのときの【話し合いの様子の一部】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

同さん 学校の近くの公園は、広くて遊具があり、一年生のころから遊んでいる場所です。私は、今まで使ってきた公園を自分たちできれいにすることで、もっとたくさんの人に気持ちよく使ってもらえるようにしたいです。私自身、どうすればよいか考えているところですが、みなさんはどんなアイデアがありますか。

谷原さん 私は、公園に行くとき、おかしなふくろやベットのボールがいつも落ちてくるのが気になります。そこで、ごみを拾うきがあると思います。ア「きかい」というのは、ロボットのことでなく、活動する時間のことです。

山下さん 公園のごみを拾うことは、すぐにできるのでよいと思います。でも、続けることは難しい気がします。私は、この公園には花が少ないので、許可をもらって、もっとたくさんのお花を植えれば、はなやかな感じになると思います。

谷原さん 確かに、山下さんの言うとおり、花を植えることは私たちにできるし、はなやかになり、よいと思います。ただ、こまめに公園へ行って花の水やりなどの世話を続けることも難しそうですね。

山下さん その点については、もう少し考えていきたいと思っています。

前田さん 私は、公園の遊具のベンキをぬり直すかと思っています。

中村さん エなるほど、いいアイデアですね。ベンキをぬり直して明るくすると、公園がきれいになるということですね。

同さん こうして、みなさんの話を聞いてみると、どれも公園をきれいにする（メモ）ためのアイデアですね。

中村さん 今までの話し合いで出たアイデアについて、よい点と問題点に分けて（メモ）してみました。

私は、公園が明るくなるので、ベンキをぬり直すことがよいと考えました。できるかどうかは分からないという問題点については、公園を管理している人や家の人に相談するとよいと思います。

同さん みなさんのアイデアや（メモ）から、取り組みやすいという理由で、私は、

（話し合いが続く）

アイデア	○よい点	△問題点
ごみ拾い	○ごみがなくなる	△続けることがむずかしい
花植え	○はなやかに	△世話を続けることがむずかしい
ベンキぬり	○明るくなる	△できるかどうかは分からない

問題の概要	【伝え合いの様子の一部】を基に、【文章2】のよさを書く
出題の趣旨	文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける
正答率	本校 全国
無解答率	本校 全国

設問 3二

（問い） 島谷さんは、川口さんと伝え合ったことをもとに、自分の文章のよさをふり返り、書くことにしました。あなたが島谷さんなら、どのようなよさを書きますか。次の条件に合わせ、書きましょう。

（条件）

- 「文章2」のよさを書くこと。
- 「文章2」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 六十文字以上、百文字以内にまとめて書くこと。

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。※の印から書きましょう。どちらの行を交えないで、続けて書きましょう。

【考察】 <課題> 「思考・判断・表現」を問う記述式問題で、与えられた条件を満たして書くことができていませんでした。

全14問中、最も正答率が低く、無解答率が高い問題でした。正答率では全国を上回り、無解答率では下回ったものの課題がみられます。設問文の中にある『あなたが島谷さんなら』という条件で書けていない解答が1番多く、また、条件の『問題文章から言葉や文を取り上げて書くこと』を満たしていない解答も多くありました。今回の調査全体では、条件付き記述式問題で一定の成果はみられたものの正答率の低さ、無解答率の高さはまだまだ課題であると考えます。国語科の授業に限らず、全ての教科等において、「条件付き文章を書く」場面を多く取り入れて、定着を図っていく必要があると考えます。

一【話し合いの様子の一部】で、谷原さんが、部Aのように発言した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 意味を説明すること、同じ音でも複数の漢字があることを知ってもらうため。
- 意味を説明すること、同じ音でも複数の漢字があることを知ってもらうため。
- くり返し伝えることで、相手の考えを引き出すため。
- くり返し伝えることで、言葉のリズムをよくするため。

二【話し合いの様子の一部】で、谷原さんや中村さんが、部イや部エのように発言した理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 友達の見聞に質問し、みんなの意見を一つにまとめるため。
- 友達の見聞に質問し、認め合いながら話を進めるため。
- 友達の見聞のよさを伝え、みんなの意見を一つにまとめるため。
- 友達の見聞のよさを伝え、認め合いながら話を進めるため。

三【話し合いの様子の一部】で、中村さんが前田さんの発言に対して、部ウのように質問し、知れたかったことはどのようなことですか。その説明として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- ベンキをぬり直すことが、公園の遊具で遊べることにつながる理由
- ベンキをぬり直すことが、自分たちではできないことにつながる理由
- ベンキをぬり直すことが、公園をきれいにすることにつながる理由
- ベンキをぬり直すことが、ごみのない公園になることにつながる理由

四 同さんは、【話し合いの様子の一部】の部エで、「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで話し合っています。あなたが同さんなら、どのように話しますか。その内容を次の条件に合わせて書きましょう。

（条件）

- 「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選び、その問題点についての解決方法を考える書くこと。
- 【話し合いの様子の一部】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、五十文字以上、八十文字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にはふくまない。

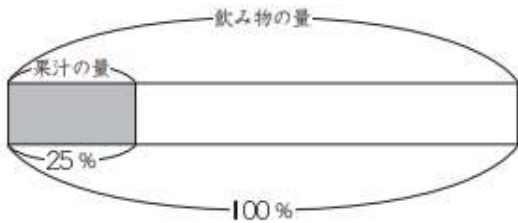
※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。※の印から書きましょう。どちらの行を交えないで、続けて書きましょう。

みなさんのアイデアや（メモ）から、取り組みやすいという理由で、私は、

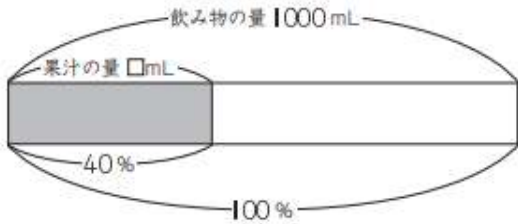


果汁入りの飲み物について考えます。

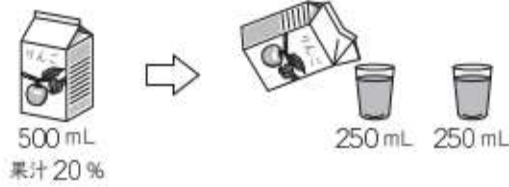
- (1) オレンジの果汁が25%ふくまれている飲み物があります。飲み物の量をもとにしたときの、果汁の量の割合を分数で表しましょう。



- (2) オレンジの果汁が40%ふくまれている飲み物があります。この飲み物1000mLには、果汁が何mL入っていますか。答えを書きましょう。



- (3) リンゴの果汁が20%ふくまれている飲み物が500mLあります。この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250mLになります。



250mLの飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまとめます。

250mLは、500mLの $\frac{1}{2}$ の量です。  
このとき、

上のア)にあてはまる文を、下の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
- 2 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。
- 3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

- (4) かいとさんたちは、果汁の割合と果汁の量がわかっているとき、飲み物の量を求めることができるかどうかを考えています。そこで、リンゴの果汁の割合が30%で、果汁の量が180mLのときの飲み物の量を求めることにしました。

果汁が30%ということは、果汁が30mLのとき、飲み物の量は100mLですね。

そうですね。私は、果汁の量から飲み物の量を求めるために、表にまとめました。

果汁の量と飲み物の量					
果汁の量 (mL)	30	60	90	...	180
飲み物の量 (mL)	100	200	300	...	?

上の表を見て、かいとさんは、次のことに気づきました。

果汁の量が2倍、3倍になると、それにもなって飲み物の量も2倍、3倍になることがわかりました。

果汁の量 (mL)	30	60	90	...	180
飲み物の量 (mL)	100	200	300	...	?

ゆうかさんは、かいとさんが気づいたことをもとに、次のように考えました。



下の表のように、果汁の量が□倍になると、それにもなって飲み物の量も□倍になるのではないのでしょうか。このことを使えば、果汁の量が180mLのときの飲み物の量を求めることができますね。

果汁の量 (mL)	30	60	90	...	180
飲み物の量 (mL)	100	200	300	...	?

果汁の量が180mLのときの飲み物の量は、何mLになりますか。180mLが30mLの何倍かをどのように求めたのかわかるようにして、飲み物の量の求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

問題	問題の概要	出題の趣旨		正答率	無解答率
2(1)	果汁が25%含まれている飲み物の量を基にしたときの、果汁の量の割合を分数で表す	百分率で表された割合を分数で表すことができる	本校		
			全国		
2(2)	果汁が40%含まれている飲み物の量が1000mLのときの、果汁の量を書く	百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができる	本校		
			全国		
2(3)	果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの、果汁の割合について正しいものを選ぶ	示された場面のように、数量が変わっても割合は変わらないことを理解している	本校		
			全国		
2(4)	果汁が30%含まれている飲み物に果汁が180mL入っているときの、飲み物の量の求め方と答えを書く	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量の求め方と答えを記述できる	本校		
			全国		

【考察】 <成果と課題> 「割合」の表し方及び「基準量」「比較量」との関係の捉え方については、概ね理解ができているものの、日常生活に即した問題で課題がみられました。

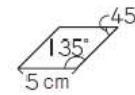
2(3)の問題について、全16問中、最も正答率が低く、10%少しいうことは9人に1人しか正答していないということになります。なお、選択肢の〔1番〕を選んだ児童が80%を超えていました。自校での分析後、授業でこの問題の復習を行ったところ、ほとんどの児童が正答することができていました。日常生活の中で『ジュースを分けても味が薄くなることはない』ということは経験からわかっているはずであるが、思考との関連付けができず、テストでは、問(4)に「比例の関係」の問題もあり、機械的に「一方が1/2になれば、もう一方も1/2になる」と考え、比例の関係と混同して考えた可能性が高いと考えられます。

【課題がみられた設問】

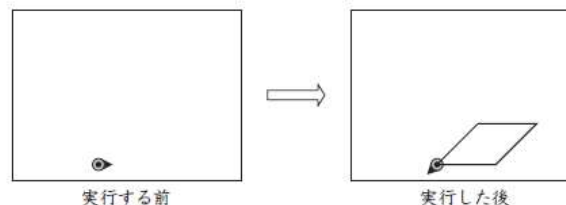
コンピュータは、いろいろな命令を順序よく組み合わせて動かすことができます。この命令の組み合わせを「プログラム」といいます。はなこさんたちは、プログラムをつくり、いろいろな図形をかこうとしています。



- (3) 次に、はなこさんは、正方形のプログラムの一部を変えて、下のようないし形をかいたためのプログラムをつくりました。



プログラムを実行すると、次のようにいし形をかきました。



いし形をかきことができるプログラムはどれですか。右の ア から エ までの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

問題の概要	課題がみられた設問			
	辺の長さや角の大きさに着目し、いし形をかきことができるプログラムを選ぶ			
出題の趣旨	図形を構成する要素に着目して、いし形の意味や性質、構成の仕方について理解している			
	本校		無解答率	本校
正答率	全国			全国

【考察】 <課題> 「いし形」の作図の仕方について、筋道を立てて考えることができていないという課題がみられました。

正答できた児童が約2/3に留まっています。全16問中、平均正答率が全国を下回り、無解答率が全国を上回ったのは唯一の問題だけでした。〔ア〕と解答した児童が20%近くおり、いし形は「向かい合う二組の角の大きさが等しい」という性質は理解できているが、この性質をそのまま用いて考えてしまい、設問に即して活用し、考えることができなかったのではないかと推測することができます。

ア	イ	ウ	エ
5 cmの直線を引く。	5 cmの直線を引く。	5 cmの直線を引く。	5 cmの直線を引く。
↓	↓	↓	↓
左に45°回転する。	左に45°回転する。	左に45°回転する。	5 cmの直線を引く。
↓	↓	↓	↓
5 cmの直線を引く。	5 cmの直線を引く。	3 cmの直線を引く。	左に45°回転する。
↓	↓	↓	↓
左に45°回転する。	左に135°回転する。	左に45°回転する。	左に135°回転する。
↓	↓	↓	↓
5 cmの直線を引く。	5 cmの直線を引く。	5 cmの直線を引く。	5 cmの直線を引く。
↓	↓	↓	↓
左に45°回転する。	左に45°回転する。	左に45°回転する。	5 cmの直線を引く。
↓	↓	↓	↓
5 cmの直線を引く。	5 cmの直線を引く。	3 cmの直線を引く。	左に45°回転する。

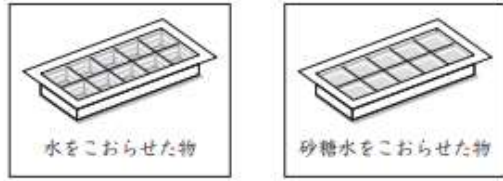


【詳細について】

教科に関する調査

<理科> 【成果及び課題がみられた設問】

2 たろうさんたちは、紅茶を冷やしたり、あまくしたりして飲むために、水と砂糖水を冷とう庫でこおらせることにしました。



たろうさん 水が先におおって、砂糖水は、こおるのに時間がかかったよ。砂糖水は、水よりこおる温度が低いのかな。調べてみたいね。

砂糖水だけでなく、食塩水も調べてみたいね。



たろうさんたちは、【問題】を見つけたので、調べることにしました。

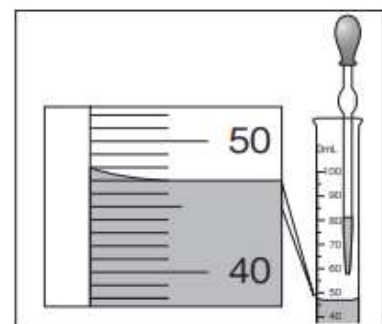
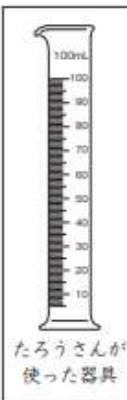
【問題】 砂糖水や食塩水がすべてこおる温度は、水がすべてこおる温度より低いだろうか。

はるとさん 砂糖水や食塩水は、こおるのが水の部分だから、砂糖水も食塩水も水と同じ0℃で、すべてこおると思うよ。

実験してみよう。



(1) たろうさんは、実験で使用する砂糖水と食塩水をつくるために、水50mLを右のような器具を使ってはかりとることにしました。たろうさんが使った器具の名前を書きましょう。



- 1 2 mL
- 2 3 mL
- 3 4 mL
- 4 6 mL

つくった水よう液で、次のような実験をしました。



実験の【結果】、水、砂糖水、食塩水の「こおり始めた温度」と「すべてこおった温度」は、下のようになりました。

【結果】 (水、砂糖水、食塩水を冷やした温度)		
	こおり始めた温度	すべてこおった温度
水	0℃	0℃
砂糖水	-1℃	-1℃
食塩水	-6℃	-8℃

(3) はるとさんは、実験したあと、【問題】、【予想】を確認しました。

【問題】 砂糖水や食塩水がすべてこおる温度は、水がすべてこおる温度より低いだろうか。  
【予想】 (はるとさんの予想) 砂糖水や食塩水は、こおるのが水の部分だから、水がすべてこおる温度と同じ0℃で、すべてこおると思う。

この【結果】からは、わたしの【予想】がちがっていることがわかったよ。【結果】の(ア)ということから考え直すと、【問題】に対するまともは、(イ)といえるね。

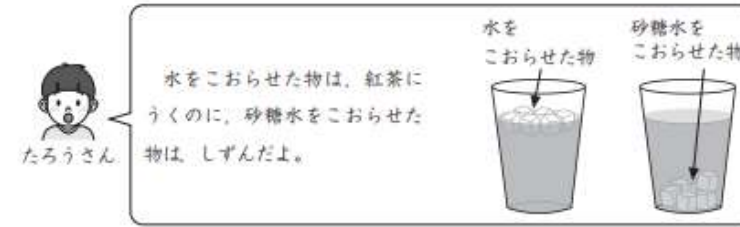
はるとさんのことばの(ア)の中にあてはまるものを、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

また、(イ)の中にあてはまるものを、下の5から8までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- (ア)
- 1 水は0℃、砂糖水は-1℃、食塩水は-8℃ですべてこおった
  - 2 水、砂糖水、食塩水は、冷やすとすべてこおった
  - 3 すべてこおるまでの時間は、砂糖水より食塩水が長かった
  - 4 水、砂糖水、食塩水は、0℃のときにすべてこおった

- (イ)
- 5 砂糖水や食塩水がすべてこおる温度は、水がすべてこおる温度と同じである
  - 6 砂糖水や食塩水がすべてこおる温度は、水がすべてこおる温度より低い
  - 7 食塩水がすべてこおる温度は、砂糖水がすべてこおる温度より低い
  - 8 食塩水だけが、水がすべてこおる温度より低い温度ですべてこおる

(4) 砂糖水をこおらせた物は、紅茶に入れるとしずみました。

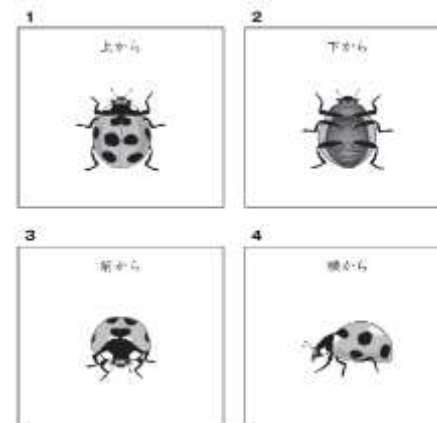


はるとさん 砂糖水をこおらせた物だから、水にしずんだのかな。砂糖水ではない、ほかの水よう液をこおらせた物でも試してみたいね。

はるとさんは、試してみたいことをもとに、【問題】を見つけた。はるとさんは、どのような【問題】を見つけたと考えられますか。その【問題】を1つ書きましょう。

問題	問題の概要	出題の趣旨		正答率	無解答率
2(1)	一定量の液体の体積を適切にはかり取る器具の名称を書く	メスシリンダーという器具を理解している	本校		
			全国		
2(2)	水50mLをはかり取る際に、メスシリンダーに入れた水の量を正しく読み取り、さらにスポイトで加える水の量を選ぶ	メスシリンダーの正しい扱い方を身に付けている	本校		
			全国		
2(3)	水溶液の凍り方について、実験の結果を基に、それぞれの水溶液が凍る温度を見だし、問題に対するまともを選ぶ	自分で発想した予想と、実験の結果を基に、問題に対するまともを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる	本校		
			全国		
2(4)	凍った水溶液について、試してみたいことを基に、見いだされた問題を書く	自然の事物・現象から得た情報を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる	本校		
			全国		

(3) みどりさんは、ナナホシテントウがこん虫であることを説明しようとしています。こん虫であることを体のつくりから説明するために、どのような写真が必要ですか。下の1から4までの中から最も適切なものを1つ選んで、その番号を書きましょう。



【課題がみられた設問】 設問 1(3)

問題の概要	昆虫の体のつくりの特徴を基に、ナナホシテントウが昆虫であるかどうかを説明するための視点を選ぶ			
出題の趣旨	昆虫の体のつくりを理解している			
正答率	本校		無解答率	本校
	全国			全国

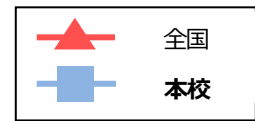
【考察】 <課題> 目的に応じた観察の視点を選ぶことができていないことが考えられます。

正答できた児童が約2/3に留まっており、平均正答率が全17問中で最も大きく全国を下回りました。誤答のほとんどは「1」を選んでいました。実際に昆虫を観察する以外にも画像等を活用し、複数の昆虫の体のつくりについて関連付けて理解を深める学習をする必要があると考えます。

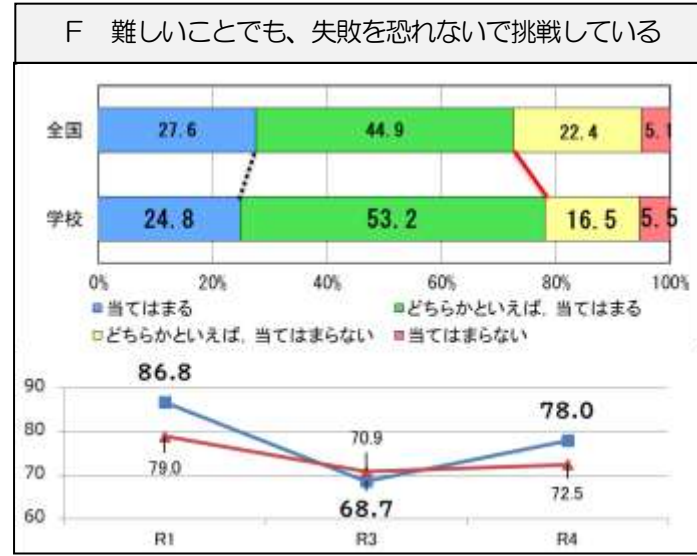
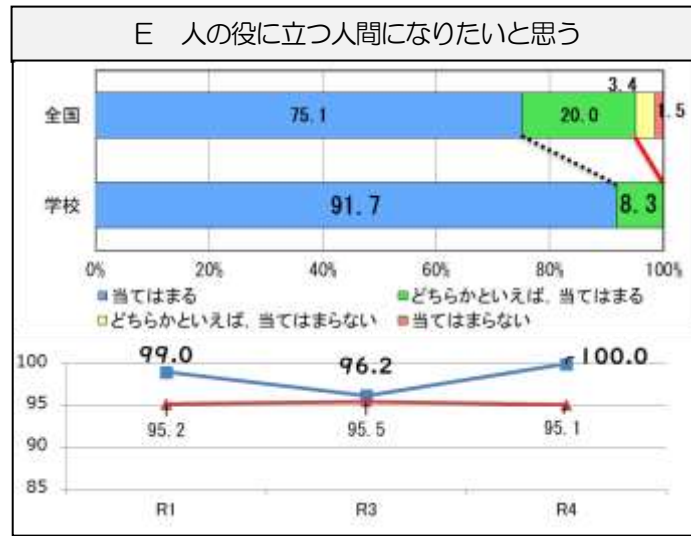


# 質問紙に関する調査

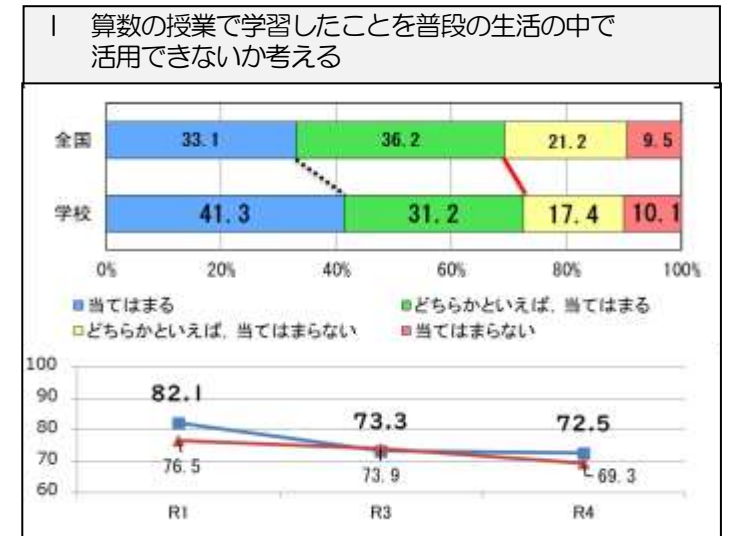
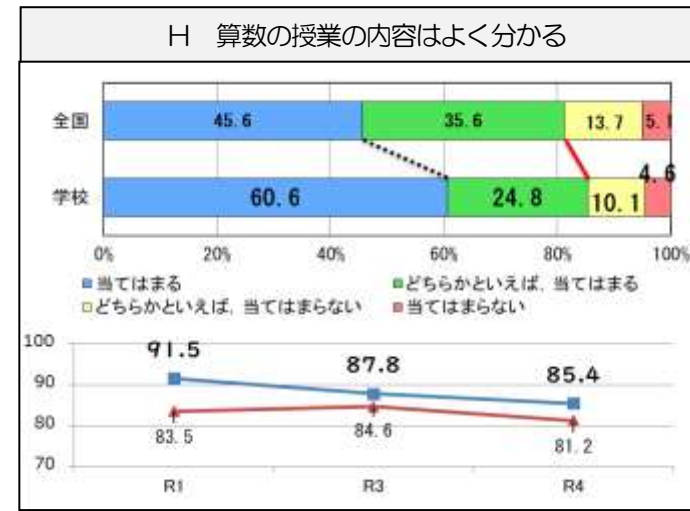
※帯グラフは、左から「強い肯定的回答」「弱い肯定的回答」「弱い否定的回答」「強い否定的回答」または、「頻度（回数や時間）」を示しています。  
 ※折れ線グラフは、「強い肯定的回答」「弱い肯定的回答」の合計数値となっています。  
 ※無回答があるため、帯グラフの合計数値は100にならない場合があります。



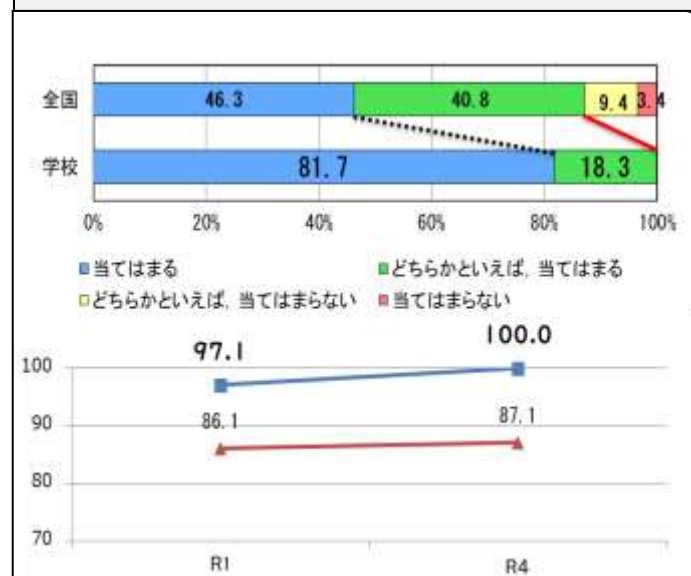
## 【成果がみられた項目】



## 【課題がみられた項目】



**G 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。**

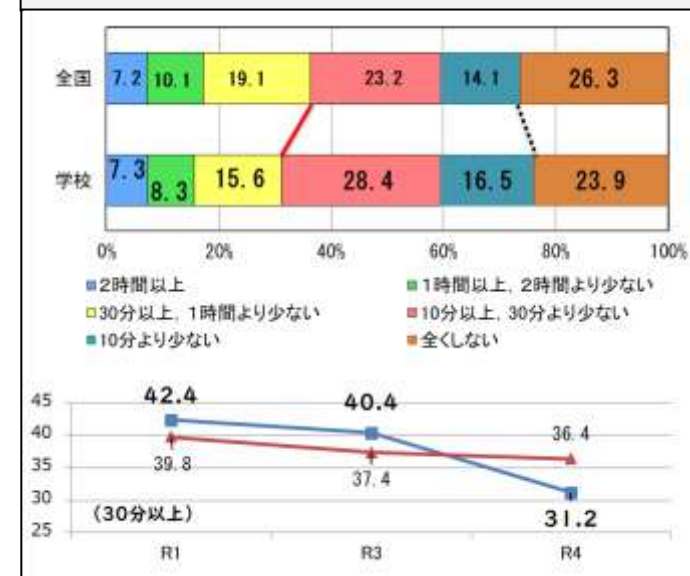


### <成果がみられた項目の考察>

『自尊意識(自己肯定感、自己有用感等)の高まりを感じています。

1頁目のA(自己肯定感)、5頁目のE(自己有用感)、F(自己効力感)の項目において肯定的回答の割合が上昇し、全国の平均値を大きく上回りました。特にA、Eの項目の『強い肯定(当てはまる)』と回答した児童の割合が全国を大きく上回っています。他に「人が困っているときは、進んで助けていますか」の質問項目においても『強い肯定』の割合が、全国を大きく上回っています。Gの項目で、肯定的回答の割合が100%となったこと、しかも、『強い肯定』の割合が全国をかなり大きく上回ったことについて、学校としましては大変嬉しい結果となりました。また、「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目でも肯定的回答の割合が約95%となり、『強い肯定』の割合が全国をかなり大きく上回りました。「児童の頑張り、成長をしっかり認め、ていく」という取組の推進を図ってきた成果であると考えます。

**J 学校の授業時間以外に普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか**



### <課題がみられた項目の考察>

学力向上へのキーポイントは、『算数』と『読書』。

1頁目のC(算数の勉強は好き)の項目では、肯定的回答の割合が下降傾向にあり、今年度は全国を大きく下回ってしまいました。H及びIの項目では、肯定的回答が全国を上回ってはいるものの下降傾向にあります。国語や理科の「教科が好き」の項目では、肯定的回答が全国を上回っていました。この児童の意識がテスト結果に表れてしまった可能性もあります。Jの項目は『読書』に係る項目の一つです。「1日に30分以上読書をする」児童の割合が、これまでは全国を上回っていましたが、1頁目のD(読書が好き)の項目と同様に今年度は大きく下回る結果となりました。同様に「新聞を読んでいますか」の項目でも月に1回以上読む児童の割合が全国を下回っています。『道は好む所によって安し』これは「どんな物事も興味を持って好意的に取り組めば容易に上達する」という意味のことわざです。児童がどの教科の学習も『好き』と思えるような授業づくり、また、本や新聞等の文字にたくさん触れるような場面づくりの取組をさらに進める必要があると考えます。

## 分析結果を踏まえて今年度中に取り組んでいくこと

### 1. 児童の興味・関心・意欲を湧きたたせる授業づくりの取組

- 学校全体で組織的に、一貫性をもって、『Hirakata 授業スタンダード(第2ステージ)』及び『枚方版 ICT 教育モデル』に基づいた授業スタイルを構築します。
  - 「驚きや不思議さ」「楽しみ」があり、思考を促すような『単元のゴール』や『学習のめあて』の提示を工夫し、児童の学習意欲を高めるような授業づくりを行います。
  - 校内授業研究のテーマ『つなぐ・つなげる・つながる ～豊かな表現力の育成～』の具現化をめざし、「枚方版 ICT 教育モデル」の5つの視点〔Creativity(創造)、Collaboration(協働)、Critical thinking(思考・判断)、Communication(意思伝達)、Challenge(挑戦)〕を授業に取り入れ、児童が「楽しい、面白い」と感じる、「表現活動」や「表現学習」に取り組みます。
- 教員がお互いに授業を参観し合う「相互授業参観」並びに、管理職による『表現力』の育成を図る授業の観察指導、外部講師を招聘した校内授業研究研修会を充実し、教員の授業力の向上を図ります。

### 2. 文字や文章に親しみ、児童の『言語能力』や『読解力』、『思考力』等の向上を図る取組

- 児童が本や読書に興味・関心をもてるような取組を進めます。
  - 「来室したくなる」「ずっと居たくなる」、居心地のよい図書室の環境整備に努めます。
  - 幅広い読書活動ができるよう、市立図書館からの本の貸し出しをさらに活用したり、図書室から各学級への貸し出し冊数を増やしたり、『読書 BINGO』等の取組を行ったりします。
  - ご家庭や地域に本の寄贈をお願いし、児童が読める本を増やしていきます。ご協力をお願いします。
- 配架している新聞が読みやすくなるような環境整備を行い、新聞記事の掲示を充実します。また、タブレット端末で閲覧できるデジタル新聞やニュースも含めて、新聞を学習教材として活用したり、新聞づくりを通して学んだりして、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、情報活用能力の育成を図ります。

### 3. 自尊意識(自己肯定感、自己有用感、自己効力感等)を高める取組の継続

- 道徳教育や人権教育はもとより、学校教育活動全般におけるこれまでの『自尊意識』を高めるための取組をさらに充実するとともに、家庭との連絡を密にし、協働・連携を図ります。